第57号

れた校種となった。

協議会 兵庫県N

8571 神戸市中央区東川崎町 1-5-7 神戸新聞社内 (078) 362-7054 FAX (078)362 - 7424TEL

hyogo-nie@kobe-np.co.jp

(1)

http://www8.kobe-np.co.jp/nie/hyogo/ ΗP

進協議会2018年度総会

年度は比較的バランスの取 数以上を占めていたが、本 育に重点を置く選定から半 18歳選挙権」の主権者教 指定校は昨年度、 中学高校連携1校、 なる指定校となった。 新しい役員などが承認された。指定校の内訳は小学校7校、中学校4校、 7階会議室で開かれ、本年度の実践指定校を20校とする活動や事業計画。 県立神戸聴覚特別支援学校が特別支援学校として県内初、 兵庫県NIE推進協議会の2018年度総会が5月23日、兵庫県民会館 高校が どを説明するスタートアッ 同協議会会長は新規校を中 プ支援の学校訪問▽NIE 心にNIE活動の進め方な 高校7校、 開会に際し、秋田久子・ 特別支援学校1校。うち新規校は9校で、 る学校への支援▽小学校で 業について報告し、 全国で33校目と

NーE推進協議会の総会 18年度の活動や新役員が承認された兵庫県

公開授業▽指定校を希望す 年度に取り組んだ四つの事 の英字新聞活用研究―の昨 た。当初からNIEに関わ 県推進協議会は20年を迎え 「兵庫

た。 るものの一人として、さら に仲間を広げ、資料として ていきたい」と決意を述べ を持った良き市民を育て 新聞を活用し、考える体力

かした学校ぐるみの実践に

依頼、小規模校の特性を生 立建屋小学校に実践研究を

取り組んでもらい、新学習

IE啓発を行い、NIEの PTAなど各種団体へのN 的に支援するほか、県内の のNIE研究会活動を積極 教育委員会と連携して各地 展させる。また、各市町の

普及・拡大に努める。

英字新聞活用では、養父市

方針。なかでも、

小学校の

4事業をさらに推進させる

英語のNIE実践研究を発

面要旨。

報告などのほか、18年度の 派遣実績や収支・会計監査 事業計画や予算案が承認さ 総会では、17年度の記者 る。

教育長があいさつした=2 県教育長、長田淳・神戸市 続いて、西上三鶴・兵庫 告されており、NIE活動 を発行した。新聞を教材と や工夫が実践校20校から報 の兵庫県NIE実践報告書 はこのほど、2017年度 への。参考書となってい 指導要領を見据えた小学校 して取り入れた授業の成果 実践報告書発行 活動の"参考書" 兵庫県NIE推進協議会

本年度は、昨年度に続く 校、中学校2校、高校10校、 同年度の実践は小学校7

となっている。 兵庫県内からは20校が指定校 り。 展開のために利用できる。 る記者派遣事業などをNIE 県内の実践指定校は次の通

【小学校】新規=神戸市立向 如川市州西、

=県立神戸聴覚

6新聞社、2通信社が分担す 購読料を負担した新聞6紙の 規校9校、2年目の継続校11 提供事業や県内に拠点を置く 校。各校は同協会と新聞社が 特別支援学校1校で、 高校7校、中高連携1 新 子中学校高等学校【高校】新規 ▽継続=猪名川町立猪名川 立建屋▽継続=西宮市立春 崎市子庄北、西宮市立 校】新規=神戸市立山田、 豊地、たつの市立揖西東、中学 【中高連携】継続=神戸山手女 伊丹市立池尻、三木市立

> する力を養っていた。 ことを考え、表現し、

中高連携1校。担当した教 にまとめ執筆した。 諭がそれぞれA4判で4%-

践の様子を記録。 を中心に、各学年の発達段 階に応じた創意あふれる実 会科、総合的な学習の時間 小学校では、国語科や社

組みが目立った。記事を通 にふるさとや県の課題など 主権者教育を意識した取り により「書く力」を伸ばし 要約や投稿を見据えた作業 兵庫県知事選の記事を素材 し社会と向き合い、調べた た事例などが報告された。 を探る取り組みや、記事の 高校では、18歳選挙権や 中学校では、昨年あった

▽継続―県立兵庫、県立湊川、 立姫路東(特別支援学校)新規 県立北須磨、県立加古川北、県 県立津名 る。問い合わせは同推進協 **2078 · 362 · 705** ページでも公開されてい 庫県NIE推進協のホーム 部を製作。各校の報告は兵 4 同報告書は94%、 400

--県立武庫荘総合、

544校の認定を発表した。 新聞協会は7月10日、 度の実践指定校として、日本 則2年間取り組む2018年

全国の

「NIE」(教育に新聞を)に原

校

新聞を教材として活用する

→8校、特別支援学校9校、 小中連携6校、中高連携8校。 全国の内訳は小学校205 中学校198校、高校1

県内は小学校7校、

中学校 洋

学校でも教科書はあるもの でいる人はほとんどいない。

電車に乗ると、

新聞を読ん

だ」という問題意識を持てる

を通して教育をやっていくも

の。新聞を活用している学校

メリットがある。

そういった意味でNIE活

るのではないか、という話が の、いずれは電子教科書にな

体の重要性を認識してもらう 動を学校の中で生かし、

ないだろうか。新聞という紙 があるのか、効果検証ができ とそうでない学校にどう違い

長田 淳•神戸市教育長

社会で生きる力育む

事は一番身近で最新の生きた

を学べることだ。地域のこと

つけるために、

NIEの発展

り、

歴史を知ることは重

学習のメリットは地域のこと

くましく生きていく力を身に 暮らしていく社会においてた

子どもたちが今後、生きて

もう一つ、新聞を活用した

沽動といえるだろう。 新聞記 を先取りし、実践をしている





西上 三鶴・兵庫県教育長

20校の実践成果期待

果として、 てこういった問題があるん 中でもいろいろな話題がある ある。紙の媒体がなくなって ことを一覧できることだ。結 とに、そして同じジャンルの ったんだろうか、ジャンルご ったんだろう、きのうは何だ 瞰でき、きょうの話題は何だ しまうのではないかとの見方 紙媒体のいい点は全体を俯 一ある課題に対し のが重要だ。

ことについて、文部科学省の けがあった。 ものはないか、という投げか 取り組みを成果として表せる 指摘があり、教育委員会での の効果検証の必要性に関する で、成果、エビデンス、一定 担当者から財務省との関係 で、教育行政の予算を増やす 府県の各教育長が集まる会合 ただ、このほどあった都道

に、どういった成果がみられ さらなる発展が期待できるの るような位置づけになれば、 追い求めていく必要がある。 Eの活動も、外に出せる根拠: るか、期待しながら応援して してNIEに取り組む20校 評価が得られるような効果を ではないか。したがって、Nー 育現場で一定の評価を得られ 媒体によるNIEの活動が教 この1年間、継続、

NIEの取り組みは、 いきたい。

総会あいさつ

ということが盛り込まれてい を養っていくことが大切だ。 社会人として常識と思われる る。NIEの活動は、この学 いくには、人間性とか社会性 が、社会でたくましく生きて **賞指導要領で目標とする学び** いくカーが必要ではないか。 豊かな人間関係を作っていく 力、社会と積極的に交わって 主体的で対話的で深い学び これからの子どもたちには 次期の学習指導要領には とらえる力や習慣が身につ く。学校の学習活動でNIE よって、一つの視点だけでな みることが一番勉強になる。 間を読めといってもなかなか の活動を積極的に取り組んで く、俯瞰的に多面的に物事を 事だと思う。 いくことの利点だろう。 いろいろな新聞を読むことに いる。新聞、紙面を全体的に 読まない。ネットで済ませて

学びを深めることが非常に大 子どもたちの若い世代は新 か。 要。人口減少の時代、選ばれ も、NIEの活動は非常に意 ち郷土愛を育むような学習も ふるさと意識の醸成、すなわ に就職で大阪や東京に出て 都市となるため、さまざまな 住み続けてもらうためには、 も、いずれ神戸に戻ってきて 取り組みを行っているが、 義深いものがあるのではない 欠かせない。そういう意味で る都市、住み続けてもらえる

2018年度 兵庫県NIE推進協議会名簿

(2018年7月現在)

兵庫県NIE推進協議会会長

長 秋田 問 西上 三鶴 兵庫県教育長 長田

貢

健年

茂之

英樹

昭彦

杉男

俊彦

義浩

和勇

朝浩

真人

正文

茂典

達男

由美

崇

淳 神戸市教育長 山根 文人 勝久 来田

兵庫県立学校長協会長(県立姫路西高等学校) 兵庫県中学校長会長(神戸市立桜が丘中学校) 資次 兵庫県小学校長会長(神戸市立西舞子小学校) 祐彦

県私立中学高等学校連合会理事長 県教委高校教育課主任指導主事 県教委義務教育課指導主事

県企画県民部管理局私学教育課企画専門員

神戸市教委学校教育課指導主事 日本経済新聞社神戸支社長

産経新聞社神戸総局長 朝日新聞社神戸総局長 神戸新聞社報道部長 每日新聞社神戸支局長 読売新聞社神戸総局長 共同通信社神戸支局長

時事通信社神戸総局長 事務局長(神戸新聞社パートナーセンター長) コーディネーター (神戸新聞社NIE顧問) (神戸新聞社NIE推進室長)

新たに1教諭 アドバイザー

も3人おり、それぞれ学校

中学校教諭\\高井浩子·姫

>中野順一•高砂市立松陽

事務局

協議会の特任アドバイザー

会

顧

副会長

上坂

摺河

井守

山本

後藤

浅見

菅澤

小林

志賀

佐竹

広瀬

儀間

島内

三好

田中

西田

山畑

谷

就任した。NIEの実践経 輔教諭が2018年度から 戸市立山田中学校の荒木浩 NIEアドバイザーに、 日本新聞協会が任命する

協会に推薦した。 県NIE推進協議会が新聞 は県内で10人となった。同 験豊かな教諭として、兵庫 荒木教諭が新たに加わ 同協会のアドバイザー 立青山小学校教諭▽吉田裕 教諭▽万寿本寬之・姫路市 のみなさん。 小学校主幹教諭▽若生佳久 協会アドバイザー 展に努めている。 や地域でのNIE普及、発 同市立一見西小学校主幹 蓮尾真一•明石市立二見 ほかのアドバイザーは次 一般社団法人日本新聞 校▽桝田安史・県立伊丹高 路市立大的中学校教諭〉佐 中川透•県立尼崎高校教頭 姫路東高校教諭 神戸市立山田中学校校長▽ 川小学校教頭▽増田和幸・ 会特任アドバイザー】 伯奈津子・同市立朝日中学 **校教諭▽佐々木浩二・県立** 津田康子•伊丹市立天神 【兵庫県NIE推進協議

るために」をテーマに掲げ 題して講演。「18歳市民とな

た2年間の教室での取り組

る新しい学びの可能性」と

NIE春夏秋冬

特任アドバイザー

での実践経験の豊富な吉本

規子校長)であった。教室

新聞活用 兵庫セミナーに教師ら50人 手法学ぶ

「今もその役割は変わって

を活用した授業の魅力や面

白さを紹介した。

ップからNIEの手法につ 習の実践発表やワークショ ランドキャンパスであっ 主催の2018年度兵庫N 参加し、新聞を活用した学 支援学校の教師ら約50人が た。県内の小・中・高校、特別 兵庫教育大・神戸ハーバー IEセミナーが6月22日 兵庫県NIE推進協議会

西宮今津高校の元教諭・銘 のあいさつに続き、16、77年 ってみました~新聞でつく 列千栄子さんが 「NIEや 度の実践指定校だった県立 同協議会の秋田久子会長

を提示した。 みについて報告し=写真、 今後のNIE活動のヒント

徒らの社会的関心を広げ問 いながら読む力が新聞を通 る解説性―などの特性を挙 性▽事実の見方を考えさせ 信するほどよい速さの速報 性▽吟味された情報を発 歩とし、幅広い情報の 民主主義社会を担う生 新聞を知る」ことが第

> 奈津子·姫路市立朝日中学 聞協会アドバイザーの佐伯 天神川小学校教頭、 ザーの津田康子・伊丹市立 学びはもちろん大事だが、 くある」と話していた。 力を育む素材が新聞には多 徒らの発想力、考え、問う 種別のワークショップを展 変化の激しい社会の中で生 いない。教科書の体系的な この後、小・中・高の校 同協議会特任アドバイ

聞から得て共有していた時 を認め合うための教養を新 の中で自由に生き、お互い 代があった」と振り返り、 して身につくと伝えた。 銘苅さんは「人々が社会 解きを学ぶ活動など、新聞 掲載のグラフ・統計の読み に着目した取り組み、新聞 り、新聞作りや新聞の写真 姫路東高校教諭が講師とな 校教諭、佐々木浩一・県立

日本新 「主体的で対話的な深い学 びにつながると再確認でき 参加者アンケートでは 各教科の実践例紹介 養父・建屋小で研修 40



屋の市立建屋小学校(米田 研修が6月6日、 教師を対象にしたNIE 養父市建

年度NIEの実践校になるので、担当を するようにといわれたことでした。 前になります。副校長先生に、勤務校が来 NIEということばもあまり普及して 私が、NIEと出会ったのは、

案して、NIEの実践校指定していただ とんど読まない生徒が多い状況でした。 きました。新聞を読んだことがない、ほ いろいろ教えていただきながらの活動で その次に赴任した学校では、私から提

いた先生もNIEに興味を持ってくださ

その当時、3年生の社会科を担当して

ないかと感じました。

よいのかも分からず、事務局の皆さんに

いなくて、もちろんどんなことをしたら

2紙をとっていましたが、特に何人かの で興味を持ったようです。 した。他の新聞との記事の読み比べなど 生徒が興味を持ったのが日本経済新聞で 先生に言ったようでした。学校としては っても、生徒は新聞を紹介してほしいと 9月から12月までの6紙の購読が終わ

聞活用へのハードルが下が た」「有意義な研修会」「分か った」などの声が寄せられ りやすく参考になった」「新 20校のうちの1校で、一般 研修を企画、 手がける。 NIE活動の1 紙や英字新聞による実践を E推進協議会の実践指定校 年目スタートに当たって同 教師11人が参

た。

潤·朝来市立枚田小学校教 法や取り組みの成果につい て説明した=写真。 諭が講師となり、新聞活用 建屋小学校は兵庫県NI の見出しや記事、写真を使 た卒業前の6年生が被災地 記事紹介の成果として、東 日本大震災の記事を目にし また、朝NIEで展開した の伊丹市の小学校で実施し の概念を子どもたちに理解 や横の罫線から垂直と平行 直と平行」で新聞紙面の縦 の惨状に思いをはせ、新聞 た各教科の実践例を紹介。 させた取り組みなど、前任 吉本教諭は、算数の「垂

科内容に関してタイムリーなものを紹介 生徒が興味を持ちそうなもの、 姿が印象的でした。本物の持つ迫力では 集中力のない生徒がしっかり聞いている 度か授業を覗きに行きましたが、普段は って、毎授業の最初にその日の記事から したり、廊下に掲示したりしました。何 增田和幸·神戸市立山田中学校校長 公民の教 る新聞を読みたい」と言ったことで、N 費用で日本経済新聞を購入しました。 できることに確信を持ちました。もちろ IEが社会に対する興味を高めることが が「ビジネスマンが電車の中で読んでい ん、その3年生が卒業するまで、学校の それまで新聞を読んでこなかった生徒

多角的な見方、物事の多面性を身につけ トフォンをみている人たちばかりです。 ことだけになりがちです。新聞によって SNS、インターネットによる情報はア クセスしやすい半面、自分の興味がある ることの大切さ伝えたいものです。 へが見かけられなくなりました。スマー 最近は、電車の中で新聞を読んでいる

どもたちに育む」と、NIE 法を考え、行動する力を子 を見つけ、情報を集め、解決 た事例を話し、「自分で問題 いながら学年別のチラシを 工夫、校内で募金活動をし 実践の魅力を伝えた。

は、 も5月29日、同協議会の秋 北中学校(中俊弘校長) 尼崎市大庄北1の市立大庄 度から実践指定校となった く、写真などから日本と異 語の表記にふれるだけでな NIE研修が行われた。 田久子会長による教員向け かけになったという。 なる外国の文化を知るきっ クラスでの実践を報告。 同校のほか、2018年 昨年担任だった5年1 方、英字新聞の活用で で 英

さん就任 ◆コーディネーターに田中 兵庫県NIE推進 にわたって務め 協議会コーディ

視される中、学校現場でのN 典さん=写真=が就任した。 砂市の元中学校校長の田中茂 が4月末で退任し、後任に高 新たな学習指導要領で一層重 同市の中学校で英語科教諭を 陽中学校の校長を歴任した。 田中さんは1985年から 中、高校での新聞活用が 、同市立鹿島中学校、 同市教委育委員会にも た山城芳郎さん

宮脇直代

るようになった。子どもた

いや抱負をうかがった。各校とも思い新たにNIE活動をスタートさせた。(敬称略) 2018年度の実践指定校で2年目を迎えた11校の校長に新年度の取り組みの狙

実践指定校2年目 11校の校長に聞

世界を広げる 新聞を通して 西宮市立春風小学校

もたちが、記事を読み、自 ちの会話が弾む。新聞に触 が群らがっている。その先 れる機会が少なかった子ど 新聞記事を話題に子どもた にあるのは、各社の新聞。 玄関ホールに子どもたち る表現力の向上を目指した える力、考えを他者に伝え 窓口になってきている。今 を生かし、更に読む力、考 年度は新聞制作にその学び ちにとって新聞が社会との

り取り、その記事について 自分の言葉で語る。まさに 分のお気に入りを探し、切 学習のまとめ 新聞の形式で

子どもたちが実社会とつな う 記事を比較する子どもたち みから2年目の春、時折、 を覚えさせている。取り組 という固定概念を払拭さ Eコーナーを設置。「読む」 で便利な情報源となるよ 図書室や教室の一角にNI 子どもたちに新聞が身近 環境作りから始めた。 「見る」ことで親しみ

社会との窓に 伊丹市立池尻小学校

低学年は目にした記事につ き、各社新聞記事に日常的 に触れるようにしている。 廊下に新聞掲示台を置 形式のまとめもさせてい 学習では単元の出口に新聞 やスピーチにも活用。教科 の姿を見かける。朝の読書

組んでいく。 世界を広げられるよう取り がり、自分の言葉を持ち、 だ。今後も、新聞を通して 主体的・対話的で深い学び

新聞を活用し

礒田かおり

いて友だちと語り、高学年 ぶりの違いを考察したりす を探したり、見出しの書きどもたちと共に楽しんでい は友だちに紹介したい記事 る。NIEの多様性を生か る。 した学習展開の広がりを子

> び、周りに効果的に伝える する出来事を新聞から選

社会への関心 高める力育む

2年目の取り組みとなる。 シーの獲得をねらいとした 基礎的なメディア・リテラ 学ぼう」のテーマのもと、 たつの市立揖西東 「私たちの生きる社会に 伊藤忠言

三木市立豊地小学校 大江実代子 よい社会作りに貢献するも のと信じる。 築による発信が、自らより ている。さらに学びの再構 いう意識の高まりを実感し め、その学びを伝えたいと 向けた活動から学びを深 をもち、様々な問題解決に 児童が社会の出来事に関心 も入手できる時代を反映し マホがあれば情報はいつで

時代の流れを 新聞記事から 猪名川町立猪名川 北上玲子 中学校

に新聞記者による講演会の 昨年度は、 国語科を中心 る。

た。複数の新聞に触れれば、

教育者が補助の手を差しの

学新聞の作成などに取り組 終わろうとする「今」に焦 んだ。今年度は「平成」が 新聞スクラップや文 新聞を活用し

、同じテ

たちを取りまく世界を知る ばせば、子どもたちが自分

県立湊川高校

点を当て、「平成」を象徴

活動を計画している。新聞 ップする視点でも記事が書 では「今」の出来事だけで かれていることに気づかせ 中での「今」をクローズア なく、一つの時代の流れの 学校全体で魅力ある授業づ 用い、授業力向上を目指し、 おいて、新聞を教育活動に

> れていくことを期待してい 能性の話がますます実現さ るだろう。以上のような可 を育む良い教材にもなり得 られるようになった読解力 にも着目すれば、近年求め

各紙

投稿も

積極的に展開

新聞で育成へ 社会創造力を

県立兵庫高校

や部活動で多忙な上に、ス は3割であった。学習課題 読するも、新聞を読む生徒 から、7割の家が新聞を購 実践1年目のアンケート

化に繋がることに期待す ていると考える。国内外に 輪となり生徒の社会創造力 IEと文科省SGHとが両 はまず読まない4割の習慣 を育成して欲しい。それに い課題が山積している。N は複雑で解決策の発見し難

い生徒が多い定時制高校に 魅力ある授業 新聞にあまりなじみのな 片岡正光

冨田哲浩 関心、意欲の向上が見られ くりに取り組み2年目を 迎えた。例えば、現代社会 判断力・表現力等を育む言 語活動に取り組み、興味、 で発表、そしてその感想を まとめるといった思考力・ 意見をまとめ、クラスの中 記事を選び、読み、自分の では自分で興味ある新聞

切り開く一助 主体的な学び

の中で大胆に自分の道を切 思考を育み、主体的な学び 生徒の批判的精神、分析的 り開く一助としてきまし います。NIEの実践を、 本校では、合い言葉にして (殻を破れ)という言葉を Break through

県立姫路東高校

化をめざします。 くための統合的な思考の深 会の中でたくましく生き抜 かります。今年度は更に社 ーマでも切り口の違いが分 各紙の報道の姿勢、

葉、写真、図表など複数の

メディアを駆使している点

はずだ。また、紙の上で言 ための一つの読み物となる

習得を目指す 多様な視点の 県立加古川北高校 青山哲也

県立北須磨高校 生徒が育つことを願ってい してくれる新聞は、生徒そ ことが本年度の課題であ 逞しく生きてゆける多くの 生きていくのに必要な問い る。多種多様で複雑な現代 様な視点を身につけさせる 盤社会を切り拓いていく多 的に広げることで、知識基 践したことを他教科へ発展 れる。変化の激しい時代を とその答えを発見させてく れぞれにこれからの時代を の問題をわかりやすく提示 昨年度、地歴公民科で実

世界読み解 力培う教材 <

小松原知子

る。

り取り、提示する新聞は、 日々の様々な出来事を切 田靡幸夫 い のか。こちらもまた興味深

資料としての活用にとどま む力」「考える力」「表現 !」をテーマに、新聞紙面 めてきた。今後も、教材・ する力」等を高めようと進 の活用によって、生徒の「読 で教室を社会とつなげよう その社会をどう生き抜く 定の実施や 各紙面への生 会はどう映っているのか、 せたい。中高生の目に、 徒の投稿も積極的に行わ らず、ニュース時事能力検 本校NIE実践は「新聞 神戸山手女子中学校 平井敬員